

# 所蔵資料 出し

特別区自治情報・交流センターで所蔵する  
東京23区に関する古い資料を蔵出ししてご紹介します。

## 人口

本書では、イラストとともに、一日平均で表した統計値と解説が記載され、当時の東京の一日の姿が分かりやすく示されているのが特徴です。

本書発行当時の東京では急激に人口が増加していました。地方に疎開していた人々が終戦とともに東京に戻ってきたことで転入者数が増加し、一日当たり1,013人の社会増となるとともに、出生数が死亡数の3倍以上になっています。その理由については、「男子の復員、引揚、その他による結婚ラッシュ」や「保健衛生施設の整備充實<sup>じゅうじつ</sup>と保健衛生思想の普及<sup>せんでん</sup>宣傳並びに都民の協力によるもの」だと述べられています。

# 統計から見た一日の東京

1951(昭和26)年発行

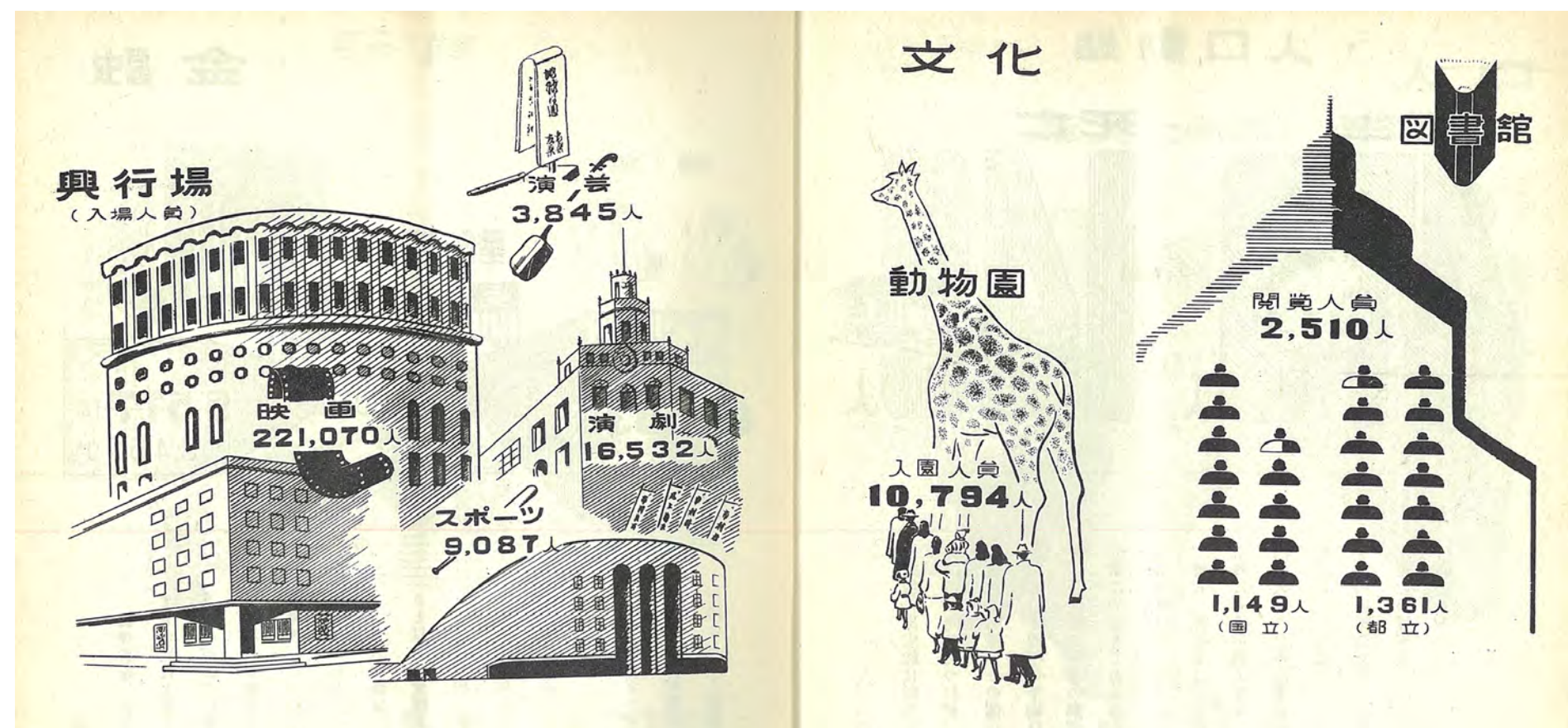
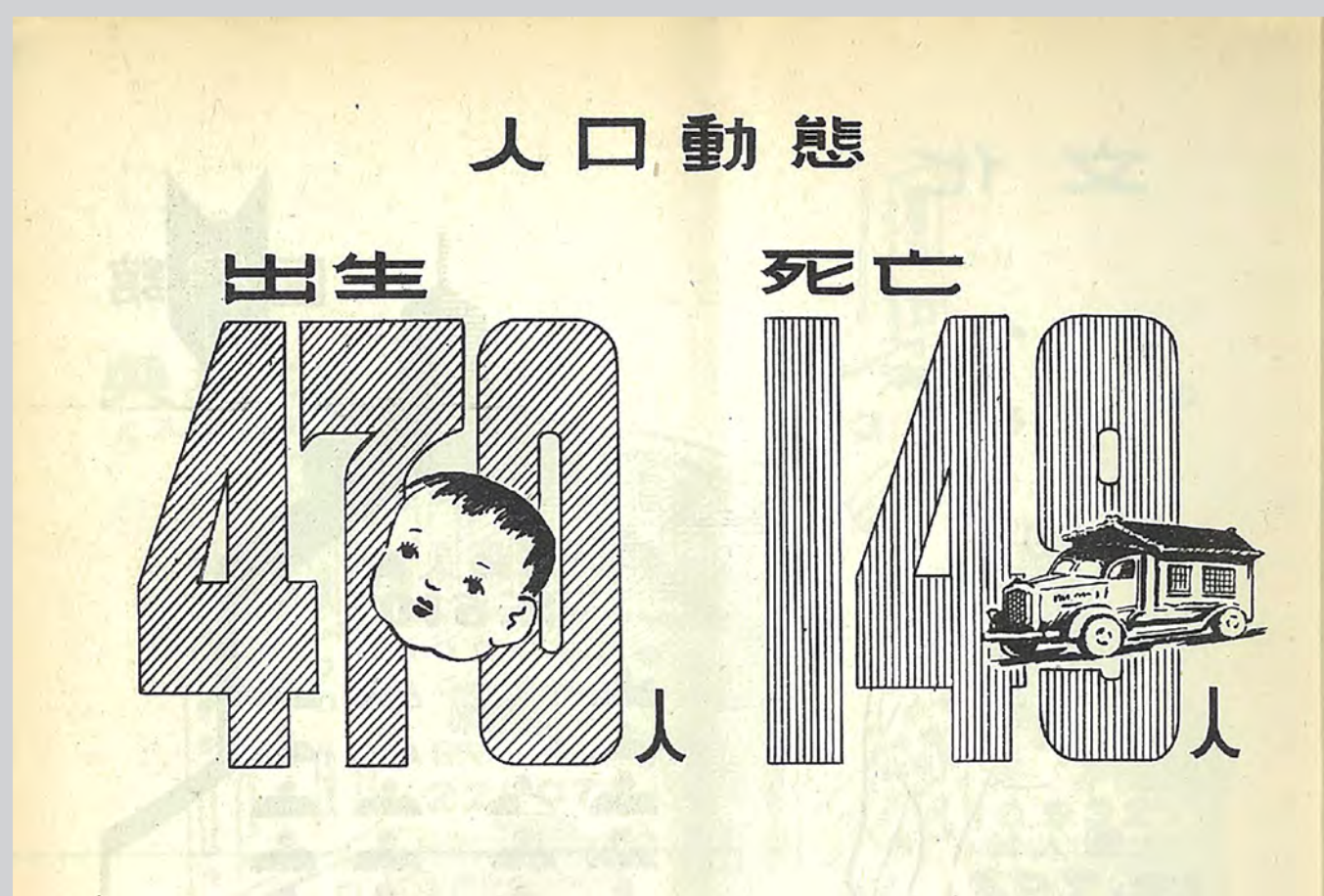
太平洋戦争終戦から約6年が経ち、東京の復興状況に大きな関心が寄せられていたことから、東京都総務局統計課が発行した資料です。



## 文化

この項目では、図書館、動物園、興行場の利用者数について記載されています。

興行場の入場人員に注目してみると、「映画(えいが)館(かん)の入場人員は二十二萬一千七十人」とあります。演劇は「映画館の十三分の一に當(あた)る」、演芸やスポーツも「映画館入場人員に較(くら)べれば微々たるもの」とあることから、まだ各家庭にテレビが普及していなかった当時、映画が特に人気の娯楽だったことがわかります。



★これらの古い資料は実際に手にとって閲覧いただけます。  
興味のある方はお気軽に4階センターのカウンターまでお声がけください。

